

令和4年度 円山動物園における動物福祉自己評価について

1 動物福祉に関する評価

札幌市円山動物園動物福祉規程第3条及び第8条に基づき、年1回以上、次の評価を実施することとなっている。

- ① 自己評価（動物園条例第8条第2項及び動物福祉規程第3条）
⇒動物福祉基準の内容に沿ったチェックリストによる評価及び改善案の作成
- ② 外部評価（動物園条例第12条第1項及び動物福祉規程第8条）
⇒自己評価結果に対する評価
⇒現地評価（動物福祉部会による施設の視察及び職員への聞き取り等）

2 令和4年度の自己評価結果

(1) 評価対象種 146種

（令和4年度末時点の飼育種：哺乳類56種、鳥類34種、爬虫類44種、両生類12種）

(2) 実施方法

園内に園長及び関係職員で構成される動物福祉評価委員会を設置し、上記評価対象種について、チェックシートによる自己評価を行った。

ア 自己評価まとめ

自己評価結果から改善が必要と評価した項目と対処方針は別紙資料のとおり

●改善が必要と評価した項目数

哺乳類23項目、鳥類15項目、爬虫類・両生類5項目、組織1項目

●改善が必要と評価した主な項目内容（例）

- ・生き餌の給餌に際し、施設における倫理的審査（哺乳類、鳥類）
- ・群れで生活する種の適切な構成（数、年齢、性比など）での飼育（哺乳類、鳥類）
- ・動物の輸送に関わる設備、容器等の定期的な清掃の実施及び安全に使用するための作動確認（哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類）
- ・環境エンリッチメントについての記録およびその評価・見直し（哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類）
- ・検疫施設と所定の検疫手続き、検疫マニュアルは整備されているか？（組織評価ほか）

3 令和4年度の外部評価結果

(1) 自己評価結果に対する評価

- ・各種記録が徹底されていない。記録しやすい体制を整える必要がある。

(2) 現地評価

○対象施設：こども動物園、カンガルー館、猛禽舎

○主な意見等

- ・スローロリスの展示方法の改善に関し、混合飼育の検討や展示と非展示の明確化を行ってはどうか。
- ・完全屋内飼育の動物について、データを整理し、共有して欲しい。

4 本評価の実施経過

(令和6年1月19日現在)

時期	内容
2023年 7月	自己評価の取りまとめ 外部評価①（動物福祉部会による自己評価結果に対する評価）
12月	外部評価②（動物福祉部会による現地評価の実施）
2024年 1月	動物福祉部会による外部評価結果について市民動物園会議本会議へ報告